

平成30年度 全国学力・学習状況調査 分析

四季が丘中学校第3学年

国語科

(正答率下位問題)

(%)

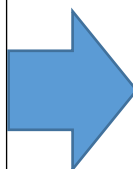
問題の概要	出題の趣旨	評価の観点	正答率		
			四季中	広島県	全国
「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書く。(国語B)	目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く。	関・意・態 書く能力 読む能力	17.9	14.1	13.3

- ・適切な語句を選択する(わたしが健康になったのは、ひとえに母のおかげです。(国語A))
- ・目的に応じて、文の成分の順序や構成を考えて書く(「心を打たれた」を文末に用いた一文を、主語を明らかに、「誰(何)」の「どのようなこと」に心を打たれたのかが分かるように書く。(国語A))



(見えてくる課題)

- ・知識としては持っているが、問題の問いに合わせた説明や解釈ができていない。複数の条件が絡む問いに対応する力を付けることが課題である。



(改善策・授業等での取組)

- ・複数の条件が絡む問題に取り組み、お互いの答えや考え方をグループ交流させる。そのような取組みの中で、自分の解き方や考え方が一方向からの視点にならないように気付かせる。

(正答率上位問題)

(%)

問題の概要	出題の趣旨	評価の観点	正答率		
			四季中	広島県	全国
父と保吉の言動についての説明として適切なものを選択する。(国語A)	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する。	読む能力	88.4	82.7	82.8
漢字の読みを答える問題。(3問)(国語A)	文脈に即して漢字を正しく読む。	言語についての知識・理解・技能	100	97.3	97.2
話し合いの際のメモのとり方の説明として適切なものを選択する。(国語A)	話し合いの話題や方向性を捉える。(話すこと・聞くことに関わる問題)	話す・聞く能力	81.1	72.9	72.4



(力の付いているところ・成果を挙げている取組み)

- ・授業の中で読み取った自分の考えの根拠を述べることを徹底している。そのため、心情理解においても、「どこに気持ちが表れるか」考えられている。漢字テスト・直しを1年時より毎時間継続しており、その成果も出ていると考えられる。

数学科

(正答率下位問題)

(%)

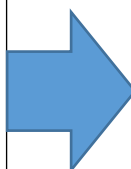
問題の概要	出題の趣旨	評価の観点	正答率		
			四季中	広島県	全国
A 駅からの道のりが 6 km の地点において列車アが通ってから列車エが通るまでの時間をグラフから求める方法を説明する。 【数学B】	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。	見方・考え方	5.3	13.7	(%) 13.2

- ・ 2 (1) 数量の大小関係を不等式に表すことができる。(数学A) 四季中 38.9, 全国 41.5)
- ・ 5 (4) 四角錐の体積は、それと底面が合同で高さが等しい四角柱の体積の 1/3 であることを理解している。(数学A) (四季中 52.6, 全国 57.6)



(見えてくる課題)

- ・ 機械的に関数の式からグラフをかくことはできるが、具体的な場面でグラフが何を表しているのか、読み取ることができていない。
- ・ 不等式の意味や公式は覚えているものの、具体的な場面に結び付いていない。



(改善策・授業等での取組)

- ・ グラフの読み取り、利用する問題を扱い、問題を解くだけでなく、問題を作ることによって、グラフへの理解を深めていく。
- ・ 既習事項の総合問題を意図的に授業の中に取り入れる。

(正答率上位問題)

(%)

問題の概要	出題の趣旨	評価の観点	正答率		
			四季中	広島県	全国
一次関数 $y=2x+7$ について、 x の値が 1 から 4 まで増加したときの y の増加量を求める。(数学A)	一次関数において、 x の値の増加に伴う y の増加量を求めることができる。	数学的な技能	62.1	43.9	45.3
はじめの数としてどんな整数を入れて計算しても、計算結果は 4 の倍数になる説明を完成する。(数学B)	事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することができる。	数学的な見方・考え方	54.7	37.1	37.5



(力の付いているところ・成果を挙げている取組み)

- ・ 文字式による事柄の証明では、添削プリントで丁寧に指導するように心がけている。
- ・ 1 次関数では、式、グラフ、表を関連付けて指導し、生徒から出た色々な考えや解き方を紹介している。

理科

(正答率下位問題)

(%)

問題の概要	出題の趣旨	評価の観点	正答率		
			四季中	広島県	全国
部屋に見立てた容器に植物を入れて湿度の変化を科学的に探求する場面において、蒸散と湿度に関する知識、問題解決の知識・技能を活用することができるかどうかをみる。	植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘できる。	科学的な思考・表現	23.2	19.3	19.4

- ・ 特定の質量パーセント濃度を指摘できる
- ・ オームの法則を用いて、抵抗の値を求めることができる
- ・ 風向の観察方法や記録の仕方に関する知識・技能の活用



(見えてくる課題)

- ・ 質量パーセント濃度やオームの法則などの計算問題を苦手としている。
- ・ 風向の観察方法や記録の仕方に関する知識・技能の活用に課題がある。



(改善策・授業等での取組)

- ・ 計算の演習を行う。
- ・ 実験を通して、風向などを記録させる。
- ・ 情報を読み取り、風向等の記録をとる練習をさせる。

(正答率上位問題)

(%)

問題の概要	出題の趣旨	評価の観点	正答率		
			四季中	広島県	全国
探求の過程を振り返り、新たな疑問をもち問題を見だし、探求を深めようとしているかどうか調べる	AI は水の温度変化に関係していることについて新たな問題を見いだすことができる	自然事象への関心・意欲・態度 科学的な思考・表現	86.3	77.5	74.0
ガスバーナーを使用した燃焼を科学的に探求する場面において、条件制御の知識・技能を活用できるかどうかをみる	炎の色と金網に付くススの量を調べる実験を計画する際に、「変えな条件」を指摘できる	科学的な思考・表現	52.3	48.7	44.1



(力の付いているところ・成果を挙げている取組み)

実験を行う際に注意すべき条件制御や、グラフを読み取り新たな問題を見いだすことができている。また、実験操作の意義を理解している。取り組みとしては、個人考察や集団考察をする時間を十分にとっていることである。